



11月1日はいばらき教育の日  
11月は いばらき教育月間

平成29年度「いばらき教育の日、教育月間」地域推進事業

# 東海村における家庭教育実践事例発表と「家庭教育講演会」

期日▼11月11日(土)

時間▼午後1時20分～4時(午後0時50分受け付け開始)

場所▼東海文化センター

定員▼800人 ※定員を超えた場合は抽選となります。

参加費▼無料

内容▼講演…「人を育てる 支える」講師…花田景子さん  
(貴乃花部屋女将、元フジテレビアナウンサー)

申し込み・問い合わせ▼はがきに▽家庭教育実践事例発表と「家庭教育講演会」参加希望▽住所▽氏名▽性別▽年齢▽電話番号——を明記の上、10月20日(金)(当日消印有効)までに、青少年センター(〒319-

1115 東海村船場768 ☎282-7049)へ申し込みください。※保育サービスや車椅子の使用を希望する方は、併せてご記入ください。

## 花田景子さん PROFILE

宮崎県出身。フジテレビアナウンサーとして活躍後、第六十五代横綱貴乃花(現 貴乃花親方)と結婚。

貴乃花部屋が創設されて以降は部屋の女将として、三児の母として多忙な日々を送る傍ら、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディア出演や講演活動など幅広く活躍中。



村内で見られるブナ科の植物には、野生種であるスダジイ、アカガシ、シラカシ、クリ、クヌギ、コナラの6種類と、栽培種であるマテバシイ、カシワなどがありません。スダジイは暖温带林の代表的な常緑広葉樹(照葉樹)で、社寺林などに多くあります。また、スダジイやシラカシなどは昔から風を防ぐ役割をする屋敷林の中に植えられています。

ブナ科の木々は秋になると「ドングリ」をつけます。実の特徴は、先端がとがり、表面の皮は硬く、上部はすべすべして茶色、下部はぶつぶつした薄めの褐色です。また、実の下部や全体を覆うおわん状のものは「ぼうれい」と呼ばれています。植物用語では「殻斗」といいます。スダジイの実(椎の実)【写真①】は、タンニンなどの渋味がないので生でも味わえますが、フライパンなどで加熱する

## ブナ科の植物「ドングリ」のなる木

ふるさと歴訪  
歴史を再発見



【写真④】マツの実、ハギの実、シュロなわ



【写真③】マテバシイの実(左)とシラカシの実(右)



【写真②】動物のクラフト



【写真①】スダジイの実

とさらにおいしくなります。また、野生クリの実には栽培クリより小ぶりですが、独特の味わいがあります。実に渋みのあるコナラやシラカシなどは、縄文時代などには、あく抜きをして渋味などを取り除いてから食用にしたといわれています。

マテバシイの実を使って動物のクラフトを作ってみました【写真②】。コナラやシラカシの実の下部は膨らんでいるので立たせてもすぐに倒れますが、マテバシイの実は下部が少しへこんで平らになっている【写真③】ので立たせることができます。私は動物の体をマテバシイの実、耳をマツの実(アカマツ、クロマツ)、鼻をハギの実、ヒゲをシュロなわ(葉の柄の基部が枯れて繊維だけになった糸状のもの)などの自然素材を使い、作ってみました【写真④】。

素材などを自然の中で探すのは、なかなか楽しいものです。

茨城生物の会理事

内山 治男